

<第2議案>

2010年度収支決算

8～9ページの2010年度収支計算書（自2010年1月1日 至2010年12月31日）と貸借対照表（2010年12月31日現在）をもって、2010年度収支決算とする。

<説明>

2010年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

10年は、常勤スタッフ2人体制を前提に、当年度収支差額ゼロを見込んでいたところ、結果としては約112万円の収支黒字となった（予算比で約165万円の収入増、約53万円の支出増）。全体としては、ピースデポ財政の基盤である会費収入が予算を下回るなか、当初予算化していなかった寄付金・委託業務収入等によって財政状況が大きく助けられる形になった。

ピースデポ財政の実態を見やすくするために、将来計画資金は繰越金に含まず、別枠に示した。また、2010年における2009年度（09年7月～10年3月）及び2010年度（10年7月～11年3月）宜野湾市調査委託契約にかかわる収入、支出についても別枠で示した。

以上を勘案すると、2011年度予算への繰越金は、貸借対照表上では約943万円であるが、表の決算欄の「次年度繰越金」に計上されている約112万円である。

2. 会費収入について

会員・購読者の正味増40口を目標としたが、退会者が相次ぎ、達成できなかった。未納会費・購読料の回収努力は一定の成果をあげたものの、会費収入全体で予算比約44万円の減となった。

3. 事業収入・支出について

イアブック09-10の収入は、予算比約1万円増、支出は予算比約13万円減であった。結果として実質収入については、約60万円（予算比約14万円の増）と、目標を達成した。ピースデポ・ブックレットの収入は、予算比約7万円増、支出は予算比約14万円増であり、印刷費が当初予算を大幅に超え、結果として実質収入については約2.5万円減（予算比約6.5万円減）と、目標を達成できなかった。講演・執筆収入は予算を下回り、約15万円減となった。一方、情報サービス・調査受託収入は予算比約15万円増となった。

以上を受けて、事業収支全体では、収入が予算比約3万円の増、支出は予算比約44万円の増であった。支出増の主な要因は、当初、予定していなかった奨励研究員の年度途中からの採用や、公開講演会・セミナー経費などである。

4. 寄付金収入、助成金収入について

一般寄付、夏季、冬季、海外派遣カンパすべてにおいて目標額を達成した。「(株)ラッシュジャパン」からの大口寄付金、約206万円が収入に大きく貢献し、寄付金収入の全体は、予算比で約245万円増となった。助成金は60万円を獲得したが、予算比で40万円減となった。

5. 管理費、予備費について

管理費全体としては、予算比で約14万円の増となった。印刷費が予算を超過したことなどが要因である。